

【記入上のご注意】

法に基づく報告書

1 建物所有者の方にご記入いただく箇所は第1面および第2面のみです。記入例をご参照の上、ご記入をお願いいたします。

第3面以降は耐震診断や改修設計を行った建築士などに記入をお願いしてください。

ただし、建築士が廃業しているなど記入のご依頼ができない場合は、第3面以降は記入せず以下のアからオの資料を添付してください。

ア 耐震診断を行った期間が確認できる資料

例) 耐震診断の契約書の写し

イ 地震に対する安全性を評価した方法が確認できる資料

例) 耐震診断報告書の診断方針欄などに記載されている以下などの指針名および年版が確認できる箇所の写しを添付してください。

S造の場合

- ・ 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版）
- ・ 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（2011年版）

R C造の場合

- ・ 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」（2001年版）

S R C造の場合

- ・ 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」（1997年版）
- ・ 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」（2009年版）

※ S R C造の場合、鉄骨が充腹材（H形鋼等）か非充腹材（トラス材、格子材、ラチス材等）か確認できる資料の写しを添付してください。

ウ 実地調査結果の概要が確認できる資料

例) 耐震診断報告書の建物調査結果概要および実地調査時の写真

エ 耐震診断時の耐震性(耐震指標 I_s 値および保有水平耐力指標 $C_{TU} \cdot S_D$ 値あるいは q 値)が確認できる表例)

階	X方向		Y方向	
	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$ (※)	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$ (※)
10階	0.63	0.35	0.72	0.43
9階	0.64	0.34	0.69	0.42
8階	0.62	0.36	0.65	0.39
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・

(※) RC造およびSRC造は $C_{TU} \cdot S_D$ 値、S造は q 値

オ 図面

付近見取図(案内図)、配置図、各階平面図、
側面図(立面図)又は縦断面図、
基礎伏図、各階床伏図、構造詳細図

2 耐震改修等を実施された場合は、第1面の「耐震改修等の実施予定の有無」欄の「1 実施予定あり」および「1 耐震改修」に○を付け、「[耐震改修等の実施予定時期]」欄に実施時期をご記入の上、耐震改修後の以下の内容が確認できる資料を添付してください。

改修後の耐震性(耐震指標および保有水平耐力指標)が確認できる資料

例)

階	X方向		Y方向	
	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$ (※)	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$ (※)
10階	0.63	0.35	0.72	0.43
9階	0.64	0.34	0.69	0.42
8階	0.62	0.36	0.65	0.39
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・

(※) RC造およびSRC造は $C_{TU} \cdot S_D$ 値、S造は q 値